



「夏に青少年を守り 市民総参加で心ゆたかで

楽しい夏休みがやってきました。市および市教育委員会、富士警察署の三者が一つになって、ことしもまた「夏に青少年を守り育てる運動」として8月31日まで全市一円にわたってくりひろげ、「心ゆたかで、たくましい青少年の育成」に市民総ぐるみで参加してくださいと強く呼びかけています。

とくに夏は、青少年が心や身体をのびのびと成長させるに大切な季節であるし、また開放的な環

境のために、いろいろな事故や非行等の問題の発生しやすい季節でもあります。

そこで家庭はもとより学校、職場、地域社会の密接な連けいのもとに青少年が、俗悪な社会環境に負けない心ゆたかで、たくましいからだに育てていくようこの運動を更に推進していくことになりました。市民の皆さんも積極的にご協力ください。そこでこの運動を更に倍加するためにつぎの5つの重点目標をかかげました。

五つの重点目標

- ① 家族の心が、かよいあう明るい家庭づくりをすすめよう。
- ② 健康の増進と体力の向上をはかろう。
- ③ 青少年の心身をむしばむシンナー類乱用等の非行や事故の早期発見と防止にしんけんに取りくもう。
- ④ 青少年の地域活動を促進し、グループ団体の育成をはかろう。
- ⑤ 明るく、住みよい町づくりをすすめよう。

帰宅時間などを確認

この季節は、性犯罪やドロボーなどの犯罪が増えています。とくに8月はむし暑いために夜、戸締りを忘れて痴漢などによる性犯罪が多く発生しています。うちの子に限って…と思う前にもう一度わが子の囲りをよく観察し、お互いに協力しあって犯罪を未然に防止しましょう。またこどもが外出するときは「行先」「目的」、「帰宅時間」などをたしかめ、親としてこれくらいのこと、こど

もに「気をつけてネ」「用事がすんだら早く帰ってきてネ」のひとことを忘れないよう心がけたいものです。そして家族の心がかよいあう明るい家庭づくりをすすめましょう。

非行早期発見10カ条

- 1、見なれない友達がたずねてくる
- 2、電話がよくかかる、電話をよくかける。
- 3、友達の家へ勉強に行くといっ



よく家を出る。

- 4、親が与えないものを持っている
- 5、塾の帰りの時間が不規則である
- 6、服装や髪形が派手になる。
- 7、所持金が多く、乱費ぐせがある
- 8、よく夜間外出したり、外泊したりする。
- 9、食事が不規則になり、食欲にむらがある。
- 10、よく学校（職場）を休む。

非行防止は

健全な家庭から

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

育てる運動を展開

たくましい青少年の育成に…

危険遊びは
やめましょう



犯罪の未然防止は 明るい家庭づくり

市補導センターでは「夏に青少年を守り育てる運動」の重点目標を達成するため、とくに家庭こそが明るい青少年を育てる土台であり、親子の有形、無形のふれあいが明るい家庭をつくることとして、これだけは家庭でぜひ守ってほしいと協力方を呼びかけています。

- ◎…親は叱るよりも、ほめることにつとめる。
- ◎…時間をきめて、家族全員で話しあいをもつ。
- ◎…「家庭の日」を活用し、明るく楽しい行事を考える。
- ◎…テレビの番組の選定、時間をきめて楽しむ(2~3時間)
- ◎…家族ぐるみで山野を歩き、自然に親しみながら体力の向上をはかる。



- ◎…夏まつり、盆踊り、花火大会などの祭典の場合、夜間外出はできるだけ親子で行動する。
なお、お子さんに悪い友達ができてお困りの方は、市青少年補導センター(教育委員会内)電話51-0123内線456番へご相談ください。

今春ツベルクリン反応が陽転したこどもは、自然陽転で結核菌が体内に入ったわけですから1年間は無理をしないこと。過激な運動や強い紫外線をさけ、栄養を充分とらせて、体力をつけることが大切です。プールや海水浴は1年間がまんを…。

しかしB
行い、こと
転の場合は
たのですか
きはOKで
プールを
流行するの
です。これ
りカゼの一

こどもの健康管理

CGを昨年
しBCG陽
免疫ができ
ら海や山ゆ
す。
仲介として
がプール熱
は夏のはや
つで、急に

高い熱が出たり、下痢を起こしたりします。水分を充分に与え消化のよい栄養のあるものを食べさせ、静かに寝かせておけば3日位で治ります。しかし他人にうつす恐れがあるので2週間はプール行きを休ませること。夏休み中は、睡眠や食事など不規則にならないようにし、水遊び、昆虫採集など外で直射日光にさらされる場合は、かならず帽子をかぶらせてください。

毎月25日は 「犯罪から家庭を守る日」

富士警察署では、毎月25日を「犯罪から家庭を守る日」と定め、県下いっせいに防犯活動を推進することになりました。市民のみなさん富士市から犯罪をなくすため町ぐるみ、地域ぐるみの自主防犯活動に参加するよう呼びかけています。ことしも忍込みなどの盗難やあき巣ねらいが多く発生しています。「犯罪から家庭を守る日」の毎月25日には、もう一度あらためて次のことに注意し、被害にかからないようにしてください。

- 家のカギは大丈夫ですか、二重カギが安全です。
- 女の人が一人で家にいるときは、出入口にカギをかけ、知らない人がきたときは、相手をよくたしかめてから応待しましょう。
- 防犯ベルを取付けましょう。
- 出かけるときは、もう一度カギをたしかめましょう。
- 外出するときは、必ず隣、近所の人に一声かけて頼んでいきましょう。